

<b>科目名：口腔解剖学</b> ( Oral and Dental Anatomy ) 履修年次/時期：1 年次 前期 授業形態：講義 担当教員：松尾智子(実務経験有)		必	2 単位 (90 時間)	
学修目的	歯科衛生士になるためには正常な顔面・口腔の形態を知らなければなりません。ユニット『歯の形態』では、ヒトの歯のかたちを学びます。歯の形態は、咬合・咀嚼・嚥下のはたらきと密接に関連しています。ユニット『口腔解剖』では咬合回復に必要な形態と口腔と顔面の基本的な構造を学びます。顎顔面の基本を構成する骨と筋、それらをコントロールする神経と血管について学びます。これらを総合的に理解することで歯科衛生士としての入口に立てる知識と技術を学びます。 CP1,2,4 に関連する。科目 No.S1B05H12			
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。		
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。		
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP			
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	①歯の方向用語を説明できる。歯式と歯の記号を説明できる。 ②切歯と犬歯の形態と構造を説明出来る。 ③小臼歯の形態と構造を説明出来る。 ④大臼歯の形態と構造を説明出来る。 ⑤歯の形態異常について説明できる。 ⑥乳歯の形態と構造を説明出来る。 ⑦歯列と咬合について説明出来る。 ⑧口腔の基本構造と機能を説明出来る。唾液腺と舌の構造を説明出来る。 ⑨顎顔面を構成する骨を説明できる。顎関節の構造と下顎運動を理解できる。 ⑩表情筋・咀嚼筋・前頸筋の構造と作用を説明出来る。下顎運動に必要な顎関節の構造と作用を説明出来る。 ⑪外頸動脈から分岐する枝の走行と分布域を説明出来る。口腔に分布する静脈とリンパの流れを説明出来る。 ⑫上顎神経の経過と支配域を説明出来る。 ⑬下顎神経の経過と支配域を説明出来る。 ⑭顔面神経の経過と支配域を説明出来る。 ⑮舌咽神経、舌下神経、迷走神経の経過と支配域を説明出来る。			
授業概要	歯科衛生士になるため必要な、歯と顎顔面の形態についての知識を学修する。科目を 2 つのユニットに分け、歯の形態、口腔の構造から構成する。これらの知識から咬合・咀嚼・嚥下に必要な形態と機能を理解する。			
評価方法	本試験（ユニット歯の形態 50%/ユニット口腔の構造 50%）			

	試験に対するフィードバックは掲示で行う。
予習・ 復習時間	【予習】2.0h 【復習】2.0h
教科書	[A] 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (医歯薬出版) [B] 口腔顎顔面解剖学ノート(学建書院)
参考書	必要に応じて授業内・掲示板・ポータルサイトで講師が指示します。
オフィス- 連絡先	講義前後 15 分 口腔解剖学第二研究室(第二研究棟5階) 随時(メールにて連絡を下さい。松尾(智) matsuo@kdu.ac.jp)

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (4/)	ユニット歯の形態：概論 ①定義・機能・歯式などについて説明できる。 ②歯の形態・3大表徴について説明できる	[予習] 教 A P72~82 [復習] 教 A P72~82 教 B 110,112,115,116 [キーワード]歯の名称 歯の記号	松尾
2 (/)	ユニット歯の形態：永久歯の形態 ①上下顎の前歯の特徴について説明できる。	[予習] 教 A P83~91 [復習] 教 A P83~91 教 B111 [キーワード]前歯の形態 構造物の名称	松尾
3 (/)	ユニット歯の形態：永久歯の形態 ①上下顎の小臼歯の特徴について説明できる。	[予習] 教 A P91~99 [復習] 教 A P91~99 教 B112,113 [キーワード]小臼歯の形態 構造物の名称	松尾
4 (/)	ユニット歯の形態：永久歯の形態 ①大臼歯の特徴について説明できる。	[予習] 教 A P99~103 [復習] 教 A P99~103 教 B112,114 [キーワード]上顎大臼歯の形態 構造物の名称	松尾
5 (/)	ユニット歯の形態：永久歯の形態 ①大臼歯の特徴について説明できる。 ②異常歯の特徴について説明できる。	[予習] 教 A P104~109,122~128 [復習] 教 A P175~180,122~128 教 B112,114 [キーワード]下顎大臼歯の形態 構造物の名称 歯の形態異常	松尾
6 (/)	ユニット歯の形態：乳歯の形態 乳歯の特徴について説明できる。	[予習] 教 A P 110~121 [復習] 教 A P 110~121 教 B116 [キーワード]乳歯の形態	松尾
7 (/)	ユニット歯の形態：歯列と咬合 ①永久歯列と乳歯列の特徴について説明できる。 ②咬合の特徴について説明できる。	[予習] 教 A P128~134 [復習] 教 A P128~134 教 B116 [キーワード]歯列 空隙 接触点 咬合	松尾
8 (/)	ユニット口腔の構造：口腔を構成する臓器 ①口腔の構造を説明できる。 ②舌・唾液腺の構造を説明できる。	[予習] 教 B 90,96,97,99,100,101,103,105,106,108,109 教 A P2~11,62~70 [復習] 教 A P2~11,62~70 [キーワード]口腔前庭 固有口腔 舌筋 大・小唾液腺	松尾
9 (/)	ユニット口腔の構造：顎顔面を構成する骨	[予習] 教 B 2~8,13~20	松尾

	<p>①上顎骨と口蓋骨の構造を説明できる。</p> <p>②下顎骨と舌骨の構造を説明できる。</p>	<p>教 A P11～26</p> <p>[復習] 教 A P11～26</p> <p>[キーワード]上顎・下顎骨の構造物の名称 側頭骨 蝶形骨</p>	
10 (/)	<p>ユニット口腔の構造：顔面を構成する筋</p> <p>①表情筋、咀嚼筋、舌筋、舌骨筋などを説明できる。</p> <p>②顎関節と下顎運動の構造と機能を説明できる。</p>	<p>[予習] B 21～29 教 A P26～37</p> <p>[復習] 教 A P26～37</p> <p>[キーワード]筋の名称 付着部 顎関節</p>	松尾
11 (/)	<p>ユニット口腔の構造：頭頸部の脈管系</p> <p>外頸動脈から分岐する枝の走行と分布域を説明出来る。</p>	<p>[予習] 教 B 42～46</p> <p>教 A P38～44</p> <p>[復習] 教 A P38～44</p> <p>[キーワード]外頸動脈 ]顎動脈 顔面動脈 舌動脈</p>	松尾
12 (/)	<p>ユニット口腔の構造：頭頸部の脈管系</p> <p>口腔に分布する静脈とリンパの流れを説明出来る。</p>	<p>[予習] 教 B 50～55</p> <p>教 A P44～49</p> <p>[復習] 教 A P44～49</p> <p>[キーワード]内頸静脈 下顎後静脈 静脈叢 リンパ節</p>	松尾
13 (/)	<p>ユニット口腔の構造：頭頸部の神経系</p> <p>①三叉神経を説明できる。</p>	<p>[予習] 教 B 68～73</p> <p>教 A P49～54</p> <p>[復習] 教 A P49～54</p> <p>[キーワード]上顎神経 下顎神経</p>	松尾
14 (/)	<p>ユニット口腔の構造：頭頸部の神経系</p> <p>①顔面神経を説明できる。</p>	<p>[予習] 教 B 74,75 教 A P54～56</p> <p>[復習] 教 A P54～56</p> <p>[キーワード]鼓索神経 味覚 唾液分泌</p>	松尾 松尾
15 (/)	<p>ユニット口腔の構造：頭頸部の神経系</p> <p>①舌咽、舌下、迷走神経の経過と支配域を説明出来る。</p>	<p>[予習] 教 B 76,77,78</p> <p>教 A P56～61</p> <p>[復習] 教 A P56～61</p> <p>[キーワード]味覚 感覚 唾液分泌 反回神経 嘔声</p>	松尾 松尾